

3月は、別れのとき。卒業、友達との別れ、担任との別れ、教科担任や顧問との別れ、教室との別れなど、様々な別れの場面があります。最後の授業をどのような形で迎えるのか、掲示物をどのようにはずすのか、共に過ごしてきた仲間への感謝の気持ちをどのように伝え合うのかなど、別れを大切に、新年度への新たな一歩につなげましょう。



<小学校>

振り返りは、少し前から！

この時期に、自分や学級の目標を振り返る機会をもつことも多いと思います。

でも、右のようなことはありませんか？



- 少し前に、目標を改めて確かめる機会をもち
- 目標を再度意識付けて
- その後、子どもと一緒に振り返る機会をもつ



成長を自分で確かめ、先生や友達にも認めてもらえること。それが学級をよりよくまとめる基盤です。

子どもを真ん中にすえた新年度準備を！

年度末の子どもの気持ちは、クラス替えや進級、進学への不安や期待でいっぱいです。生徒指導の視点から、新年度に向けた準備をしましょう。

○ すべての子どもを対象にした準備



- ・「4月が楽しみ!」「早く学校に行きたい!」と思える子ども主体の活動を実施。

○ 支援を必要とする子どもへの準備



- ・4月はじめから安心できる支援の準備。
- ・春休み中でもできる支援を継続。
- ☞「不登校への対応の手引き」を参考

○ 生徒指導を機能させる教職員の準備



- ・支援に関わる子どもの情報共有。
- ・クラスや担任が変わる場合の丁寧な引継。
- ☞「相談記録・アセスメントシート」の活用

<中学校>

深い絆を結ぶ別れ
～愛の『別れの花束』～



別れの3月です。卒業前や学年の終わりに、これまでを振り返って、自分の足跡や成長を確認し、お世話になった友達への感謝の思いをもてるような活動を考えましょう。

【活動例】 『別れの花束』

- <活動のねらい> 書いてもらったメッセージを思い出に、それぞれが新しい場所で輝けますように！
- ・メッセージシートを自分の背中に貼る。
- ・友達に伝えたいことを、友達の背中に貼ってあるメッセージシートにお互いに書く。まず、班の友達に。その後、メッセージを伝えたい友達に。
- ・自分のメッセージシートを読む。
- * これからの心のエネルギーになるようなメッセージを書くようにしましょう。最後に、一人一人のシートに教師から贈る言葉を書きましょう。

別れは絆をいっそう深いものにします。お互いに感謝し合えるまとめを工夫しましょう。

生徒自身が節目をつくるとき

学校全体が3年生を送る会や卒業式等、学校行事の準備・実施に忙しいこの時期は、長期休業や進級・進学も間近に迫っているため、生徒個人に目を向ける必要があります。

☆保護者への協力も呼びかけましょう☆

《全学年共通》

- 春休み中の課題 → 内容と提出方法
 - 部活動の計画 → 個人の参加予定
 - 規律正しい生活 → 具体的な計画
 - 外出時の連絡 → 保護者の周知、事故防止
- 《3年生》～卒業後の中学校への訪問マナー～
- ・服装・携帯電話等の私物・職員への挨拶



またこの1年間の経験を生かし、生徒が生活を見つめ直すことで、前向きな姿勢を育てましょう。

自分が新年度に実行したい目標を決め、
長期休業中に開始！